

## 1. ロシア語学校について

2月同様、3月も多くの子学生さんたちが極東連邦大学に留学しに来ました。ロシア語を話せない学生さんが多く、入学手続きをする際に英語で事務担当の先生と話している学生も見受けられたり、ある程度ロシア語ができる学生が授業中に通訳として事務室に呼ばれたりしています。

クラスに編入してくる学生がいたり、新たにクラスが編成されたりしているため、大学内は少々手狭に感じました。

## 2. 沿海地方行政府での実務研修について

先月に引き続き、沿海地方政府で実務研修をしています。

### ・沿海地方政府スポーツ局（3月4日～15日）

スポーツ局では、主に国際交流試合等を担当している部屋で実務研修をしました。ウラジオストクでは日本の都道府県との交流試合も多く、富山県以外の県と行っているスポーツ試合やイベントを今後は富山県ともできないか、と何度も聞かれました。

スポーツ局がある建物は、体育館や50mプール、サンボや空手の道場などが一つの建物に集まっている複合施設になっています。スポーツ局ではこれらのスポーツに関するイベントの開催や試合の運営のほか、トレーナーの派遣なども行っています。

また、私が実務研修を受けている期間中に、施設内で「子供適正スポーツテスト」というプログラムが始まりました。このプログラムでは体力テストの他、カウンセリングやビデオを使ったテストを小学生の子が受け、その結果をもとにその子供に最も適したスポーツの種目を教えてもらえます。



(写真1：「子供適正スポーツテスト」  
オープニングセレモニー)



(写真2：「子供適正スポーツテスト」様子)

### 3. ウラジオストク市内の状況について

---

#### ・気 候

3月になり、ウラジオストクは少しずつ暖かくなってきました。2月には全面凍っていた海も溶け始めています。



(写真3：氷が溶け始めている海)

#### ・治安状況

日本人が犯罪に巻き込まれたという情報はありません。

#### ・市内の様子

3月8日は「国際婦人デー」となっており、世界的にも記念日となっているように、ロシアでも大切な日の一つとなっています。この日は女性に感謝の気持ちを伝える日で、ロシアでは主にチューリップの花が女性に贈られ、街中でもチューリップを販売している露店が多く見られます。

### 4. ウラジオストクでの行事について

---

#### ●富山県立伏木高校のウラジオストク青少年劇団「オヴァーツィヤ」訪問（19日）

伏木高校でロシア語を専攻している生徒がウラジオストクを訪問し、ウラジオストクの青少年劇団「オヴァーツィヤ」との交流会が開かれました。

劇団「オヴァーツィヤ」からの参加者は主に14歳～17歳の子が多く、伏木高校の学生さんとはロシア語とジェスチャーを交えてコミュニケーションをとっていました。交流会ではジェスチャーゲームや詩の朗読、ダンスなどが行われ、交流会の終わりには連絡先を交換している学生もおり、交流が深まっていました。

伏木高校はこの他にもウラジオストク市内の学校訪問などもしており、その様子は後日、ロシアのニュース番組で報道されていました。



(交流会写真①)



(交流会写真②)